

## 5号機 タービン建屋地下1階 配管室における水漏れについて

平成 16 年 11 月 18 日

### 5号機

平成16年11月17日午後5時10分頃、発電機負荷遮断検査により原子炉が停止した後、タービン建屋地下1階高圧ドレンポンプ配管室エリア(放射線管理区域内)において、高圧ドレンポンプ(1)出口配管のオリフィス取付フランジ部(3)のすき間から、水が滴下していることを当社社員が発見しました。(水の滴下量:約50cc/分)

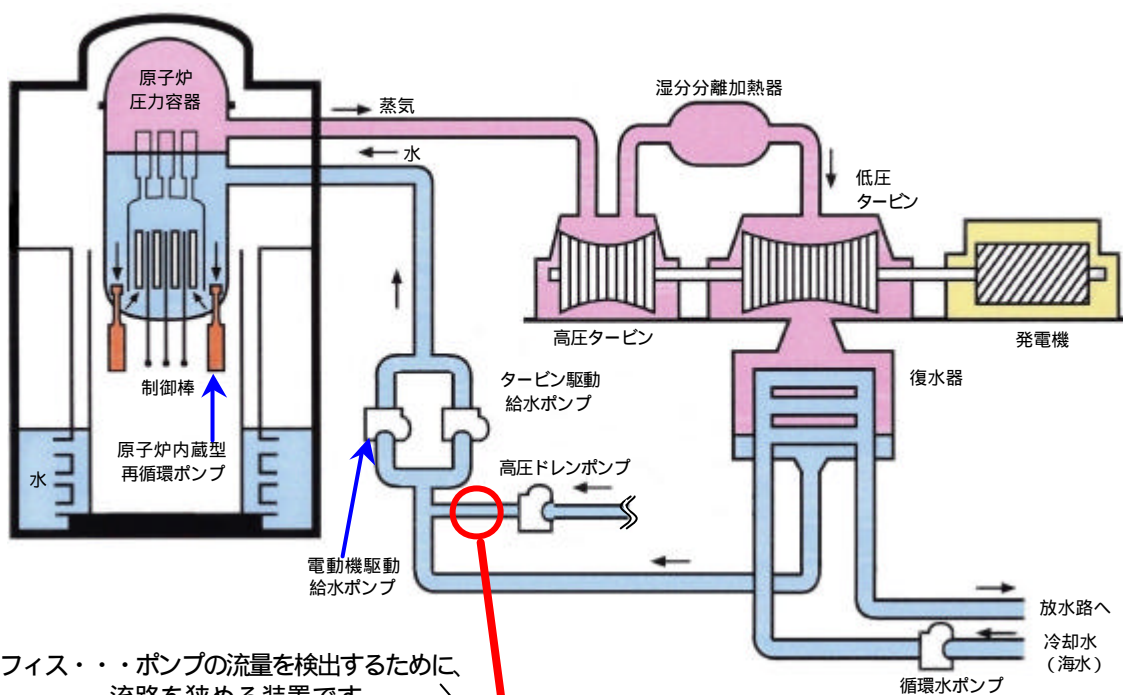
当該箇所の上流、下流の弁を閉じたことにより、午後7時5分、滴下は止まりました。

外部への放射能の影響はありません。

11月17日午後8時0分より当該フランジ部の点検を実施しています。

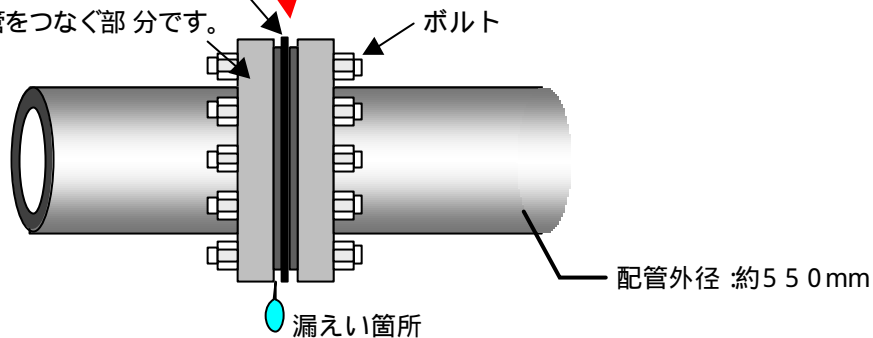
- 1 高圧ドレンポンプとは、湿水分離加熱器(2)等で発生するドレン(凝縮水)を給水ポンプの入口に戻すためのポンプのことです。
- 2 湿水分離加熱器は、高圧タービンから排気された蒸気中に含まれる湿分を分離除去し、蒸気を加熱する装置です。

原子炉格納容器



- 3 オリフィス・・・ポンプの流量を検出するために、流路を狭める装置です。

フランジ部・・・配管と配管をつなぐ部分です。



以上